

吉野復興大臣の福島県訪問ぶら下がり会見録
(平成30年6月16日(土) 12:51~12:56 於) ヒルトップ エヌリゾ
ート福島)

1. 発言要旨

本日は、石油資源開発株式会社が新地町に建設をしました、相馬LNG基地の竣工披露式典に出席をいたしました。この相馬LNG基地は、福島イノベーション・コースト構想の中核を占める重要な拠点でございます。ここから供給されるクリーンな天然ガスを活用した、高効率火力発電所や新地町のスマートコミュニティ事業など、新たな事業が計画され、地域の雇用創出や産業の再生が進んでいくことと思っております。

復興庁としても、福島イノベーション・コースト構想の実現に向けて、引き続き支援をしてまいります。

2. 質疑応答

(問) 今日、大臣、初めて基地を視察されたと思いますが、印象はいかがでしょう。

(答) 津波対策がされているということ、そして、いわゆる重要な部分は全部、津波を避けた上にあるということ、本当に防災も考えた施設だなというのが、私の最初の印象でした。

(問) 今後、エネルギーの安定供給については、どのようなことを期待したいですか。

(答) 正に福島イノベーション・コースト構想の中核施設として、日本国のエネルギーの安定供給基地としての役割を果たしていく、重要な施設が、この浜通りにあるということは、誇りに思います。そして、エネルギーの安定供給に寄与しているという思いと、LNGの活用もしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

(問) 先日、第二原発、これの廃炉を検討するという東電の説明がありました。これについて、大臣はどのように受け止めていらっしゃいますか。

(答) 昨日、小早川社長が大臣室に参りました。そこで、廃炉の方針を述べたわけですが、私はそれはそれとして評価をします。そして、廃炉が福島県の復興にとって、邪魔にならない、今まで、ある意味で復興を阻害をしていた施設でございますので、そういうものは取り除かれるという点では、評価をするところです。ただ、去年の春、四つの町村が避難指示解除されたわけでございますので、できれば、去年の解除時に、昨日のような方針を決定していただきたかったということは申し述べたところです。

(問) まだ正式決定ではありませんが、その点についてお願いいたします。

(答) ですから、これから廃炉の具体的な工程表を作るわけですので、その点は、早急に作るようお願いを申し述べたところでございます。

(以 上)